

ますます注目される「ぎょさい」と「積立ぷらす」

～近年の自然災害と漁業を取り巻く環境～

2015 年は、9 月 24 日時点で既に 4 つの台風が上陸し、さらには全国で記録的な大雨被害も発生し、不安定な天候が続いております。長崎・山口両県の沖合では 6 隻の漁船が相次いで転覆するといった竜巻が原因とみられる事故も発生しました。

また、自然災害のみならず周辺諸国・外国籍漁船による国内漁業への影響が多発しています。昨年は、中国漁船による日本近海での違法サンゴ漁、サンマは公海上での外国漁船による乱獲、さらにロシア連邦ではロシア 200 海里水域でのサケ・マス流し網漁業が来年より禁止との法案が可決され、北海道道東地域を中心に地元経済への大きな影響が懸念されています。

このような中、ぎょさい団体は「ぎょさい」と「積立ぷらす」が漁業経営のセーフティーネットとしての役割を少しでも担えるよう、浜への「ぎょさい」と「積立ぷらす」の普及・浸透に引き続き臨んで参ります。

上半期の加入実績を見ますと、養殖共済の引受が集中する時期であり、今年度は、クロマグロ養殖で契約尾数の減少等がありましたが、昨年度に引き続きタイ養殖での加入増、昨年度から始まった強度漁場改善タイプのハマチ・カンパチ養殖での加入増を中心に、養殖共済全体では共済金額で前年比 106%、90 億円増の 1,557 億円となりました。また、養殖版積立ぷらすは漁業者積立額で前年比 125%、11 億円増の 55 億円となりました。下半期は、漁獲・特定養殖共済の契約が大半を占めます。養殖共済の実績増を契機として下半期の加入推進も頑張ってお参りますので、漁業者・漁協並びに関係者皆様のご理解を頂きますようよろしくお願い致します。

平成 27 年度の加入実績（8 月末累計）

（単位：百万円）

| 区 分 | 共済金額 | | | 漁業者積立額 | | |
|-------------|---------|---------|------|--------|-------|------|
| | 27 年度 | 26 年度 | 前年比 | 27 年度 | 26 年度 | 前年比 |
| 漁 獲 共 済 | 82,898 | 75,762 | 109% | 3,547 | 3,137 | 113% |
| 養 殖 共 済 | 155,710 | 146,617 | 106% | 5,503 | 4,386 | 125% |
| 特 定 養 殖 共 済 | 2,499 | 2,068 | 121% | 137 | 97 | 141% |
| 漁 業 施 設 共 済 | 7,860 | 7,364 | 107% | | | |
| 地 域 共 済 | 4,208 | 3,050 | 138% | | | |
| 合 計 | 253,176 | 234,862 | 108% | 9,187 | 7,620 | 121% |